

入山炭礦の弔慰金は 十萬圓の巨額に達す

本日金額決定した 最高三千圓平均千三百圓

入山探炭株式會社にては今回の遭難者遺族に對し慰問の一方として弔慰金分配方を審議中であつたが勤績年數及び會社に對する功績等を參酌決定し本日午前八時から役員其他就業員一同を第五坑前の廣場に集合せしめ吉本鑛業所長から今後の方針に關する注意等に就き懇篤なる説明あつて弔慰金分配額發表されたが其報告に依ると最高は技手齋藤利三郎氏の三千圓

磐崎村の 補欠選挙

十一月初旬か

石城郡磐崎村では昨記の如く國有土地處分問題の紛擾から村議十八名中八名の辭職を出したので町制第十條により近く補缺選挙を行ふ筈であるが六十日以前に於て名簿作製の關係上期日は十一月初旬になるであらうと

傳猷方願出

攝政宮殿下に

平町田町日進堂支店島田勝吉氏は菓子甘泉梅、四倉町吉田彌十郎氏は鯛味噌を攝政宮殿下に傳猷方願宛願出た

所得調査 委員會終了

税額増減なく

平稅務署管内第三種所得調査委員會は去る十一日を以て全部の調査を了して閉會目下集計中にして税額は詳細判明せざるが大体に於て本紙屢報の如く田畑收入に

於て可なりの減少を來し居るも右は帝都復興材移出の關係上森林收入の増加により結局前年に比し殆んど異動なき結果となりたるものと如く看取さる

不漁續きの石城七濱

海水浴の客は辨當持參 傳馬船での小鯛釣り

濱の書入れ時である夏の漁業の結果によつて漁村の一年中の景氣不景氣も定まることさへ言はれてゐるが今年の石城七濱は小名濱といはず四倉と云はず何處も不漁續きで

昨年の

如きは八月中旬頃までには既に十數萬圓の鯉漁獲を見たに拘らず今年はその三分の一にも充たず偶々漁があつた所で十日目に一隻で僅か二百本位が關の山であるまた避暑客の如きも今年

不景氣

な爲めかそれとも要領が良くなつたのか以前程は金銭も消費せず辨當持參で簡素に済ますといふ具合で碌々漁村には金が落ちない斯んな調子で陸と海との兩攻めを喰つてゐる

カテイラン

素麺のおいしい 食べ方

まづ素麺を熱湯に投じて煮ると、暫時にして泡をふきますその時水を少し加へて又沸騰さす。かふする事三度の後釜のまゝ水を満たしたるバケツの中に入れてかへ全く素麺が冷ゆるまで水をそそぎ、最後にザルに上げ

神谷活動寫眞 石城郡神谷村青年團、同窓會、村教育會主催となり廿一二の兩日同村小學校内に縣有活動寫眞を催し縣より吉田囃託出張する

漁村は 舊盆を控へて此盆をどうして送らうかと工面に窮してゐる有様で漁師は昨今漸く傳馬船と稱する解のやうな小舟に乗じて沖合一里くらゐの處で小鯛釣をやつてゐるが相當の漁獲もある

四倉の

如きは一日

七八十隻位の小舟が漁に出掛け一隻で多いのは十貫匁小くても五六貫匁は獲れるから假りに七十貫匁し一隻六貫平均と見て一日の漁獲高は四百二十貫匁一貫地價二圓五十錢として千六十圓の高價に達するそれでも漁のないよりは遙に増しで

最近で

は四倉海岸の如き此のデナムと稱する小舟が沖合に舟橋を作つて置くの注意すべきは素麺のあつた間は決して手をふれてはなりません。もし少しでも人の手がふれると素麺の油は決してぬけません。出来まじたら、別に鶏の骨を一羽一寸水洗ひして一升の水を加へて最初強火にかけて充分沸騰させ、表面にうきた泡やあくをきれいにすくいとり、ふたを

漁獲に精を出してゐる程で此の收入によつて辛ふじて舊盆の二日を送る

問題の 土木課長が 濱通り視察

本縣土木課長は十二日濱通り方面の土木行政視察として出張したる事に平町の發電所反對同盟會員は手ぐすね引いて待つて居る

平窪團旗樹立 石城郡平窪村中平青年分團にて十七日午前十時から同校小學校に於て團旗樹立式を舉行する

不平受付

投書歡迎 國道に店を 平署前程狭い國道はない夫れは片側の商店が道路へ店を九尺も出張させてある爲めだ一昨日も人力車と荷馬車が衝突したのは道路が狭くなつて居る爲めであつて甚だ通行上に不便を來す場合が多い是れは早速平署から注意を與へべきである(不平生)

伊藤平署長の答 成程御尤もですから注意を加へて國道を寬す事のない様にすべく積りである

して今度はどう火にてゆるしと煮分量が半分位になるまで煮つめて、そのしるをこします、そうして水につけておいた推茸と油揚げ一枚二三本のねぎをみみ共にごまかく小口きりにきざみ、前にこしおいたしるを今一度沸騰させたる中へ投じ、つぎにゆでておいた素麺を入れ醤油と食鹽とで味をつけます。

手洗い機

ミシン機械を使ふ人が裁ち方と縫ひ方に重きを置いて機械の扱ひ方を等閑にするのは全く鼎の脚を缺くものです、なればこそミシン機械の持ち腐と云ふ家庭が多いミシン機械は形は大きいが極めて精巧緻密な機械ですぐ糸の目が飛ぶ糸が切れぬ皺がよる厚いものが縫へぬと云ふやうな

故障を

起し易いから何うしても日頃から手入れを怠つてはならぬ先づ金屬部の内漆の塗つてある部分には鳥毛の塵掃ひで塵を掃うて柔かい布又は絹地の小

切で拭ひ取り

適度の 光澤を保つことに注意せよ此部に油をつけることは禁物であるニッセル鍍金及地金部は布で塵を掃うて置いてから油雑巾でよくバランスオイルへツド廻轉軸部は前と同じ

掃除を

怠るな木製の内テーパーは初め鳥毛の塵掃ひで綺麗にぬぐひ布で

よくふき動物性又は植物性の油を注いだ雑巾を用ひて

表面を摩擦し最後に油をふくまぬ布で充分に摩擦する

使用する

所で一日に三回一回量は一個の孔に一滴位の程度長い間使用しなかつた時には石油又は揮發油を多量に用ひて機械を迅速に動かしてから油を注ぐ

平町役場主催 木工講習會

廿一日より

平町役場主催木工講習會は来る廿一日より廿一日迄磐中舊校舍に於て開催講師は東京工業教授森谷延雄氏外二名である

縣參事會員の 石城郡視察

二班に分れて

本縣參事會員一行の石城郡内出納検査は来る廿六日から施行する筈であるが検査の便宜上二行は甲乙の二班に分れる筈であつて甲班は物江、井上、酒井、大平の

四氏乙班は菅野、草野、桑野の三氏であるが因に兩班の日割は左記の如くである

△甲班(廿五日)植田集合(廿六日)植田署(廿七日)旅行(廿八日)築港事務所(廿九日)回春院(卅日)旅行(卅一日)平治院(九日)磐城中學校 △乙班(廿五日)植田集合(廿六日)植田署(廿七日)旅行(廿八日)水産試験場(廿九日)回春院(卅日)旅行(卅一日)平署(九月一日)石城郡役所(二日)磐城高等女學校

葡萄酒賣り

平町郡役所前通り佐藤葡萄酒舖にては人体に特効ある人參葡萄酒を本日から三日間ハカリ賣りする由